2025年8月取材

# 日高地区 新規就農者紹介



### 【就農のきっかけ】

前職は日高町で競走馬を運送する仕事をしていました。 主に北海道と茨城県の往復で、家を空けることが多かった です。歳を重ね家族と過ごす時間も大切であることを感じ、 転職を決意しました。仕事は生活レベルを下げないことを 念頭に、道内の運送業、漁業、農業を考えましたが、最終 的に以前から興味のあった農業を選びました。隣町であっ た平取町の新規参入希望農業研修生に応募し、農家研修、 実践農場研修をそれぞれ」年間受けて就農しました。

### 【就農して苦労したこと】

就農したころから農業資材や燃料価格が高騰し始めました。 ハウスに遮光材を塗っていましたが価格が倍になったため、 遮光シートに変えるなど費用を抑える工夫をしました。それ でも前職と比較して収入が大きく減り、ここまでの農業資材 や燃料価格の高騰は、就農時には想定できませんでした。 花田農園 (平取町)

## 花田 季之 さん、真紀 さん

就農年:2022年1月

経営形態:施設園芸

作物:大玉トマト、きゅうり、寒締めほうれんそう

### 【活用した事業】

農林水産省の「農業次世代人材投資事業(就農準備資金・経営開始資金)」及び「経営発展支援事業」、平取町の「平取町新規参入者就農促進対策事業」、JAびらとりの「新規就農者ハウスリース事業」を活用し、就農時に必要な設備の準備をしました。



農薬散布機



トラクター

### 【営農について】

現在はハウス施設 9 棟で営農しています。大玉トマトは 8 棟 (38a)、きゅうりは 1 棟 (5a)、寒締めほうれん草は 2 棟 (10a)で栽培しています。

大玉トマトの品種は「桃太郎ネクスト」と「桃太郎ブライト」を、きゅうりは「まりん」を栽培しています。

#### ハウス内のきゅうり





#### 収穫されたきゅうり



### 【地域との関わり】

地域には順調に溶け込めたと思います。私は札幌出身な ので、こちらの地域に来た時は付き合い方にとまどいがあ りました。札幌在住時は近所付き合いが薄かったのですが、 助け合いといった人とのつながりは平取町が濃いと感じま す。妻は日高町出身なので違いを感じなかったようです。 忙しい合間に気の合う仲間とお酒を飲む時は話題も共通で とても楽しいです。

### 【オフタイム(冬場含め)の過ごし方 】

前職と比べて2人で過ごす時間は増えたと感じます。年 間の作業は、トマトの播種が2月から始まり11月まで収穫 作業が続くため休みはありませんが、12月から収穫が始ま る寒締めほうれんそうは栽培面積が少ないので時間に余裕 ができます。買い物や映画を観たり札幌在住の長女に会い にいくことが楽しみですね。 I 月から2月は作業が一段落 するので、毎年、夫婦で2回ほど旅行へ出かけています。 神社・仏閣めぐりが好きなこともあって伊勢神宮には毎年 参拝しています。御朱印帳は独身時代から数えて4冊にな りました。







ハウス内のトマト

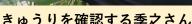
収穫されたトマト

### 【 今後の展望 】

昨今の気候変動(猛暑)が問題となっていますが、今ま での栽培技術ではこの気候に対応できないと感じています。 このような厳しい状況の中でもしっかりトマトを収穫でき る技術を身につけたいです。

自分の作りたいものではなく、消費者が求めるものを 作っていきたいと思います。







きゅうりを確認する季之さん 収穫したてのトマトと真紀さん

### 【 今後、就農する方々に伝えたいこと 】

農業への憧れだけで就農しないよう慎重に判断してくだ さい。資材の高騰など、ここ2、3年で状況が変わってき て、経営も非常に厳しくなっています。多くの人から話を 聞き、よく考えた上で行動に移してください。

農業をするということは、その地域に根ざすということ です。住んでみないと分からないことも沢山あります。例 えば、子育て、買い物、病院、人とのつながりなどもあり ます。リスクもよく考えた上で下準備をすることが絶対に 必要です。骨をうずめる覚悟でやっていけるのかよく考え てください。

生活面を含めて大変なことが多いので、デメリットを教 えてくれる人の話をよく聞くことが大事だと思います。